

専門分野Ⅱ 精神看護学 授業計画

授業科目及び時間数	精神看護Ⅲ 1単位 15時間		
開講時期	2年次後期		
担当教員	式守晴子・勝治乃武子	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>本科目のねらいは、看護師の専門的で意図的な対人関係としての患者 - 看護者関係を理解し、振り返りの技術を身につけられることである。さらに生きる力と強さに着目した援助、地域における精神看護の学習を通して患者の回復を促進する援助を学ぶことである。</p> <p>本科目では、対人関係の理論(ペプロウ・オーランド・ウィーデンバック)の理解ができること、専門的コミュニケーション、相対角度の体験に参加すること、振り返りの技術である再構成の理解ができること、地域における精神看護の必要性・援助の理解を到達目標としている。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 対人関係の理論 1) ペプロウ 2) オーランド 3) ウィーデンバック 2. 対人関係の振り返りの技術 1) 再構成の記入方法の理解	講義(勝治)	
2回目	1. コミュニケーションの基本	講義(勝治) グループワーク	
3回目	1. 治療的コミュニケーション	講義(勝治) グループワーク	
4回目	1. 援助関係の構築 1) 援助関係の基礎 2) 患者 - 看護師関係	講義(勝治)	
5回目	1. 生きる力と強さに着目した援助 1) ストレングス 2) リカバリ(回復) (1) SST (2) 認知行動療法	講義(式守)	
6回目	1. 地域における精神看護 1) 心理教育 2) 地域生活に向けての援助(服薬の指導) 3) 地域で生活するための原則 4) 地域生活を支える看護の実際	講義(式守)	
7回目	1. 対人関係の振り返りの技術(再構成)	講義(勝治) 演習	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 95%(式守20% 勝治75%) 課題提出(再構成)5%		
受講生に対するメッセージ	<p>基礎看護学で学んだコミュニケーションを想起しながら、さらに看護者にとって必要な治療的コミュニケーションを身につけられるよう授業に取り組んで下さい。</p> <p>再構成を通して、改めて自己のコミュニケーションの特性を振り返る機会として欲しいです。また、ここでは「ストレングス」「リカバリ」についても学びます。これは当事者のもつポジティブな可能性に注目する看護のありかたです。精神疾患をもつ人々の問題だけではなく、ポジティブな面にも目を向けられるようにして行って下さい。</p>		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 感性を磨く技法Ⅰ 看護場面の再構成 日本看護協会出版会		
参考書	系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② 医学書院		